

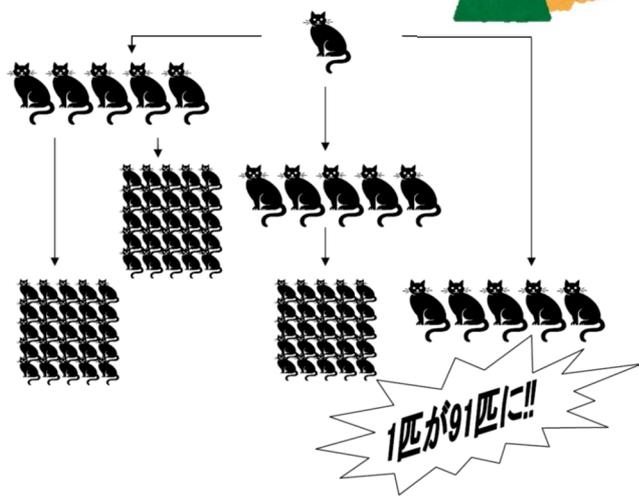
ねこにえさを与えている方 ねこを助けてあげたい方へ



ねこにおやみにえさを与えると・・・

① ねこが増えてしまいます

飼い主のいないねこは、えさを求めてさまよいますが、えさを確保できる環境があると、繁殖して増えていきます。ねこの繁殖力はとても強く、年に2～3回、一度に2～8匹の子ねこを産むことができます。そこで、年3回、一度に5匹の子ねこが産まれると計算すると、一年間のうちに1匹が91匹まで増えることになります。



② いたずら被害が増えます

ねこが増えるにつれ、地域でふん尿や発情期の鳴き声、敷地内へ侵入しいたずらをされるなどの被害も増えてしまいます。増えれば増えるほど、被害の解消が難しくなります。

③ 不幸なねこになってしまいます

飼いねこと違って屋外での生活を余儀なくされているねこの多くは、交通事故や感染症により命を落とすか、増えすぎたために地域住民によって行政に引き取られ処分されているのが現状です。

いたずら被害を無くし、不幸なねこを増やさないために・・・

- 室内で飼ってあげるか、ねこを幸せに飼ってあげられる人を探しましょう。
- おやみにえさを与えない、えさになるものを置かないようにしましょう。
- ねこに不妊・去勢手術を行い、これ以上ねこを増やさないようにしましょう。



ねこに困っている方へ

飼い主のいないねこによるいたずら被害が町内各所で報告されています。被害をなくすためには膨大な時間と労力が必要となりますが、現状の被害を減らす方法として、敷地内に入らないようにする方法を紹介します。

- 市販のねこ忌避剤、食用酢、木酢液、水などを撒いておく。
- ごみを荒らされないよう、ごみにネットをかけるか収集場所をフェンスで囲う。
- ねこが入りそうな隙間に網を張る、侵入防止用のトゲ状マットや装置を置く。
- ハーブ、かんきつ類の皮、唐辛子、コーヒーかすなどねこが嫌うものを散布する。
- ねこ避けとして置いてあるペットボトルは、ペットボトルがレンズの役割をして太陽光線を集め、火災を発生させる危険がありますので注意してください。

▼ご注意ください▼

ねこが嫌いだからといって、罟を用いて捕獲したり、毒餌を与えたり、ねこを傷つける、おやみに棄てるなどの過度な行為は「動物虐待」に当たり厳しく罰せられます。絶対にしないでください。

■お問い合わせ・ご相談

峡南保健福祉事務所
(峡南保健所) 衛生課

☎0556-22-8151

身延町役場 環境上下水道課
環境衛生担当

☎0556-42-4811